



杉並区立 杉森中学校
学校だより 第316号
平成23年11月30日
平成23年度 第7号

「ちょっとした気遣い」

校長 大橋 亮介

以前テレビで、雨の日に傘をさした中年男性と女学生が道を歩き、すれ違いざまにお互いの傘をよけて通り過ぎるアニメーションを見た覚えがありませんか？そのアニメーションは、公共マナーをテーマにした広告だった。これは、江戸しぐさと言われ、粋な江戸時代の人々の生活を今に表わしたもので、「傘かしげ」という作法である。これが放映されたころは、公共マナーの悪さや道德教育の必要性が取り上げられたころだと記憶している。

先日の朝礼で、これに似たことで、私が日常生活で気になっていることを話した。

通勤時、電車が駅に着き、私が車内からホームに降りるときのことである。私は、ドアが開くのを待ちホームに降りようとした。その時、ドアの前に仁王立ちで吊皮につかまっている若者がいた。彼は、私が電車から降りやすいようによけるか、一度ホームに降りるのだと思っていた。そしてドアが開いた。しかし、彼は一向に降りる気配がなく、よけようともせず立っている。私は、「降ります」と声をかけたが、動く気配もない。「すいません」と言いながらやや強引に電車を降りた。また、こんな光景にも出会った。高校生が、ドア付近にカバンを置いて立ち、電車が駅に着きドアが開いたにもかかわらず、置いたカバンを持

ち上げてどかすこともなく、降りる人たちがカバンにつまずきながら降りていた。

昔の話をすると年をとった証拠と言われてしまうかもしれないが、私は子供の頃、親に連れられ電車に乗るときや道を歩くときには、「ドアが開いたら人の邪魔にならないようによけなさい」、「狭い道ですれ違う時は道を譲りなさい」など「人に迷惑をかけるな」と口うるさく言われたものだった。今では、言われていたことが何気なく身に付いているような気がする。今でも、街を歩くときや電車などの公共機関を利用するときは、いつも以上に気を遣っている。

子供たちには、学校生活、家庭生活、社会生活の中で生きるための様々な知識・教養を身に付け、体験し、学級の一員、家族の一員、社会の一員として立派な大人になってほしいと思っている。子供たちには、将来、子供の手本となるような大人になってほしいと思っている。まずは今、「誰にでも何気ない気遣いができる杉森生」になってほしいと強く願っている。そうすれば、みんなが、心地良く過ごせると思う。

私たち大人は、子供の手本となる行動ができなくてはいけない。そして事あるごとに、「ちょっとした気遣い」の方法を子供たちに教えていかなければいけないのである。それが、私たちの使命だと思う。

～ 11月の活動アルバム ～

11月、心を豊かにする活動



【阿佐ヶ谷ジャズストリート】

10/31（日）〈杉一小体育館〉

杉森中学校・中瀬中学校の吹奏楽部による合同演奏で、大きな拍手をいただきました。



1 A

1 B

1 C



2 A

2 B

2 C



3年合同



3 A

3 B

3 C



講演会

東京都 教育の日【道徳】授業参観 11/5（土）

〈1年〉「生命の尊さ」

『グリーンリボン』や『ドナーカード』から、『命の大切さ』について考えました。

〈2年〉

A「自他の生命の尊重」：強くもあり、脆くもある『命』について考えました。

B「子どもの権利条約」：世界の子どもたちの状況から、命とは、平和とは何かについて考えました。

C「国際理解／人類愛」：他国と日本との密接なつながりから、世界の幸福への貢献について考えました。

〈3年〉「命・責任」

1年での「他人の命を尊重する心」、2年での「自分の存在の原点」を踏まえ、「不特定多数の人々の命と、自分の仕事に対する責任感」について考えました。

【道徳授業地区公開講座・講演会】

講師：杉九小支援本部事務局長 櫻田 幸一 氏

東日本大震災 被災地やミャンマーへのボランティア体験のお話を伺いました。

【連合音楽会】 11/8（火）

杉並公会堂で行われた連合音楽会。2年生が「あなたへ」と「時の旅人」を歌いました。表現力豊かな、素晴らしい歌でした。



おめでとう！！卓球部

杉並区 新人戦

〔団 体〕：3位

〔個人シングルス〕：準優勝

〈12月の予定〉

3（土）杉森祭／和紙キャンドルナイト

5（月）振替休業日

6（火）三者面談（始）

11（日）杉並区 駅伝大会

12（月）三者面談（終）

22（木）終業式

26（月）冬季休業日（始）

〔第3学期 始業式〕

平成24年1月10日（火）